

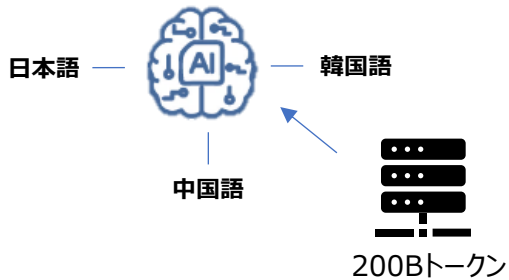
観光業向け多言語LLM開発・事業成果概要

実施者

株式会社ユビタス・株式会社Deepreneur

- 事業概要
- 東アジア言語に強い多言語LLMの開発と公開
 - 訪日観光客・外国人労働者向けアプリの開発
 - 自治体・観光事業者提供し収益化を目指す

基盤モデル開発



Llama 3.1 405Bを基盤に、日・中・韓データで継続事前学習・ファインチューニングした多言語モデルを開発。GPUクラスタで調整し、推論・対話生成性能を向上。API提供とHugging Faceでの公開を予定。

社会実装イメージ



基盤モデルと開発ノウハウをオープン化しサードパーティの利用とあつる開発を促進するとともに、自社で開発する観光向けアプリを外国人旅行者及び自治体に提供。旅行体験の向上と観光課題の解決を目指す。

事業成果

主な研究開発成果、アピールポイント等

本事業で開発された日本語と繁体字中国語、韓国語に特化した大規模言語モデルは、Llama 70Bのファインチューニング版と405Bの継続事前学習版で構成される。日本語モデルはJA MT-Benchで8.47、ELYZA-100で4.27を達成し、繁体字中国語モデルもTMMLU+で76.06%以上と高い性能を示した。特に405Bモデルの学習は、SFTに8万時間以上、DPOに1万時間以上のH100 GPUを使用し、日本語トレーニングとしては過去最大規模となる。DeepSpeed ZeRO-3やOpenRLHF RingAttentionなどを活用し、240ノード以上のH100クラスタで実行された。最終モデルは日英両方のベンチマークでGPT-4 Turboを上回る優れた性能を発揮している。